



県指定史跡「宮谷県庁跡」である本國寺を会場に10月21日、文化フェスタが開催され、文化フェスタ in 本國寺が開催

ました。昨年引き続き、「江戸の粋 新内と車人形を楽しむ」をテーマに、江戸の町で親しまれた新内と車人形が披露されました。

新内とは、情緒あふれる語りと三味線の音色で、江戸の粋を今に伝える浄瑠璃の流派の一つ。人間国宝である鶴賀若狭(つがわかさ)によって、新内についての説明や「新内流し」が語られた後には、手ぬぐいを使ったの吉原かむりの実演があり、会場は次第に江戸の雰囲気になりました。

はかない男女の情話をもとにした「明烏夢泡雪」が、哀れで美しく、しとやかに語られると、場内には目をつぶり、その余韻に浸る参加者も。後半では、「八王子車人形」が登場。車人形と

澄んだ水が流れる川

真亀川をきれいにする協議会ポスター展

- ▶期間=12月12日(火)~25日(月)
- ▶場所=役場1階ロビー
- 小学生高学年の部
 - 最優秀賞 白駒多央さん(白里小6年)
 - 優秀賞 上代若奈さん(白里小6年)
- 中学生の部
 - 最優秀賞 上代佳苗さん(白里中2年)
 - 優秀賞 黒川真実さん(白里中1年)



▲白駒多央さんの作品 ▲上代佳苗さんの作品

料理 ヘルシーおやつ

おやつは毎日の楽しみですね。でも、太るのが心配という方にもお勧めの低カロリーおやつをご紹介します。果物は何種類が使うと、彩りもよくなります。



杏仁豆腐

- 材料4人分
- スキムミルク・・・大さじ4
 - 水・・・1カップ
 - 砂糖・・・20g
 - 粉寒天・・・2g
 - 水・・・大さじ2
 - アーモンドエッセンス・・・少々
 - 季節の果物・・・適宜
 - シロップ
 - 水・・・50cc
 - 砂糖・・・25g
 - レモン・・・1片
- 1人分 65kcal

- 作り方
- ①大さじ2の水に粉寒天を加え、ふやかしておく。
 - ②鍋に水1カップと①を入れて火にかける。温まってきたら、スキムミルク、砂糖を入れて、よく煮溶かす。そこにアーモンドエッセンスを加える。
 - ③②を型に流し、冷蔵庫で冷やす。
 - ④シロップの材料を混ぜ、冷蔵庫で冷やす。
 - ⑤③が固まったら、スプーンで取り分け、④をかけて果物を添える。

食生活改善協議会白里支部

縄文時代からのメッセージ

ふるさとポケット歴史館が公開中



▲先人たちの足跡が刻み込まれた土器の展示

縄文時代の先人たちの足跡は、長い時を経て土に埋もれ、現在、遺跡として発見されています。遺跡は本町でも発見され、その場所は100力所以上。当時のさまざまな状況が発掘調査で明らかにされています。

発掘された土器などは、当時を知ることでできる貴重な資料のため、一般の人がこれらに身近で見られる機会が少ないのが現状。そのため町内から発見された考古資料を通して、町の古代の様子を町民の方に知っていただくことと、山武郡市文化財センターの協力により、中央公民館でふるさとポ

ケット歴史館が開催されています。

事務室脇に置かれている展示ケースに並べられた砂田遺跡群と大綱山田台遺跡群から発掘された5つの貴重な土器には、縄目の文様によって裝飾する特徴が間近で見ることが出来ます。

また、年表や遺跡の場所を記した地図なども併せて展示してあり、町内のどの場所でもどのような状況で発掘されたかが一目瞭然。本町の歴史の息吹を身近で感じながら、先人たちの足跡をたどることが出来ます。

このふるさとポケット歴史館は、テーマを変えて随時行われていきますので、ぜひ、古代からのメッセージを目にしてみてください。

は、ろくろ車と呼ばれる車輪のついた台座に演者が腰掛けて1人で1体を操れるように工夫された人形芝居で、人と見紛う細やかな動きに、驚きの声があちらこちらで響いていました。

最後は車人形と新内によって、



▶第1回目の審議を行う委員の方々

わらわらこみみの 減量化に取り組み

町廃棄物減量等推進審議会委員を委嘱

近年、人口の増加や多様化する生活様式の変化により、廃棄物を取り巻く環境問題は急務となっております。

年々増大していることから、こみの減量化を含めた施策が推進されていくことが、大綱白里町廃棄物減量等推進審議会は、一般廃棄物の排出抑制や適正な分別・保管・収集・運搬・再生・処分等の処理を確立する目的で設置。これまでにこみ指定袋やリサイクル回収倉庫の導入、粗大ごみの有料化について審議され、分別の徹底と減量化に取り組んできました。

10月25日には、新たな審議会委員として17人を委嘱。今後、すでに県内市町村の6割以上が導入している家庭ごみの有料化など、さらなるこみの減量化を推進するため審議していきます。

優雅に咲き誇る大輪を競う

老人クラブの菊花展が開催



秋の深まりを感じさせ、古くより日本人に親しまれている菊花。10月から11月にかけて、全国各地で菊花展が開催され、見る人々を魅了してきました。

本町でも老人クラブ連合会主催による恒例の菊花展が、10月30日から11月2日まで開催。会場の役場1階ロビーには、地元愛好家により丹精込められ育てられた菊花の芸術品51鉢が並べられました。

菊花は、白、紫、黄と色鮮やかで優雅に咲き誇り、来場者の足を止め、心を和ませました。

◇菊花の審査結果(敬称略)

- ▼町長 賞Ⅱ内山和
- ▼議会議長賞Ⅱ飯高實
- ▼教育長賞Ⅱ高山正
- ▼商工会長賞Ⅱ内山秀夫
- ▼観光協会賞Ⅱ葛岡茂
- ▼社会福祉協議会長賞Ⅱ永岡博
- ▼選挙管理委員会委員長賞 Ⅱ小林孝明
- ▼老連会長賞Ⅱ上代忠勝